

ロタウイルス予防接種のお知らせ

対象者	ロタリックス（1価）を選んだ方 → 出生6週0日後から24週0日後までの間に2回接種
接種期間	ロタテック（5価）を選んだ方 → 出生6週0日後から32週0日後までの間に3回接種
回数	※接種の途中でワクチンの種類の変更はできません。
接種費用	無料（全額公費負担） ※必ず親子（母子）手帳を持参してください
接種場所	別紙の <u>市内医療機関</u> または <u>本島内の医師会加盟医療機関</u>

※1回目は出生14週6日後までに接種してください。

14週6日後を過ぎての接種は推奨できません。

※別紙予診票の注意事項をよくお読みください。

※病院に行く際は必ず親子（母子）手帳を持参してください。

※2回目・3回目を接種する際は、前回接種との間隔を27日以上あけてください。

ロタウイルス胃腸炎ってどんな病気？

ロタウイルスによって引き起こされる急性の胃腸炎で、乳幼児（0～6歳）にかかりやすい病気です。主な症状は、水のような下痢、吐き気、嘔吐、発熱、腹痛です。

ふつう、5歳までにほぼすべての子どもがロタウイルスに感染すると言われています。脱水症状がひどくなると入院治療が必要になることがあります。5歳までの急性胃腸炎の患者のうち、40～50%前後はロタウイルスが原因です。

2種類のワクチンの有効性に差はある？

有効性は同等と考えられています。ロタリックスは1価の弱毒性ウイルスワクチン、ロタテックは5価の弱毒性ウイルスワクチン（1種類、5種類の弱毒化したロタウイルスがワクチンに含まれています）という違いがあります。

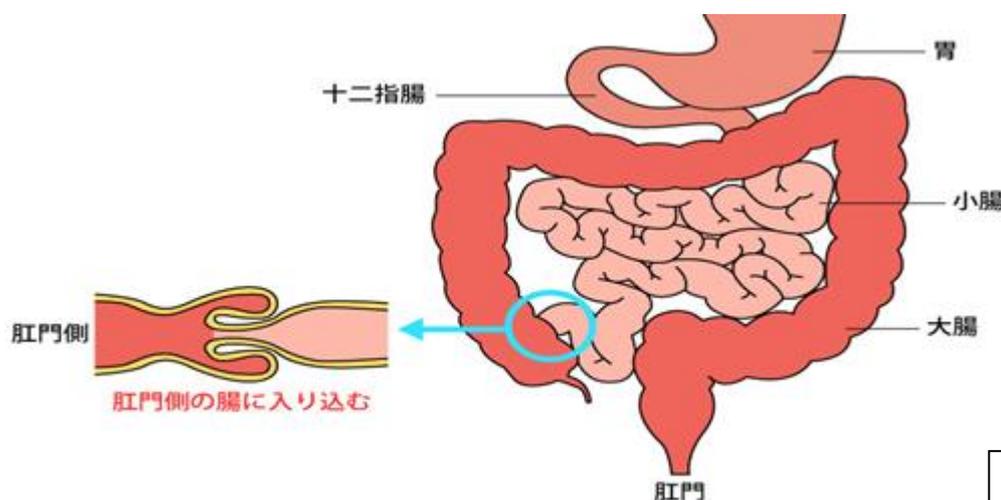
接種した全員がロタウイルス胃腸炎を発症しないわけではありませんが、ロタウイルス感染による胃腸炎の約80%予防、重症ロタウイルス感染症に限ると約95%を予防するといわれています。

ロタウイルスワクチンの副反応について

ワクチンを接種した後に、まれにウイルスに対して身体が何らかの反応を示す場合があります。副反応の症状についてはぐずり、下痢、咳、鼻水、嘔吐、食欲不振、胃腸炎などがあらわれることがあります。通常は数日程度で治まりますが、気になる症状があるときは速やかに病院を受診しましょう。

また、まれに腸重積症の症状があらわれることがあります。腸重積症は、0歳児の場合、ロタウイルスワクチンを接種しなくても起こる病気で、3～4か月から月齢が上がるにつれて多くなりますので、早めの接種を開始し完了することが大事です。

初回接種後、約1～2週間はお子さまの体調をよく観察してください。



出典元：社会福祉法人
恩賜財団 済生会

【 腸重積症とは 】

腸が腸の中に入り込み閉塞状態になることです。ロタワクチンの接種に関係なく、0歳児のこどもによくみられる病気なので接種しなくても注意が必要です。

接種後、腸重積症になる可能性がわずかに上がる可能性があります。泣いたり不機嫌になったりを繰り返す、ぐったりして顔色が悪くなる、嘔吐を繰り返す、血便がでる等の症状がひとつでもみられる場合は、すぐに医療機関を受診してください。早期治療で手術することなく治療できます。

予防接種法健康被害救済制度について

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、健康被害が生じた場合には、被害の程度に応じて定期予防接種法に基づく補償を受けることができます。

ただし、健康被害が予防接種によって引き起こされたものであるか、別の要因によるものなのかの因果関係を、各分野の専門家からなる国の審査会にて審査し、予防接種によるものと認定された場合のみ補償を受けることができます。